

国土交通省 高精度測位社会プロジェクト 屋内外シームレス測位サービス実証実験

H28年度取組内容（案）

平成28年7月21日
国土政策局 国土情報課

高精度測位社会プロジェクトの概要

屋内電子地図等の空間情報インフラの整備を推進し、外国人を含めた誰もがストレスを感じることなく、迷うことなく移動・活動できるストレスフリー社会の実現に向けて、実証実験等を通じ民間サービスの創出、サービスの基盤の全国的な整備・活用を促進する。

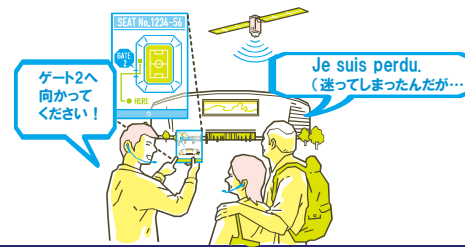
2020年時点に実現するサービスのイメージ

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会において、高精度測位技術を活用した多様なサービスが民間事業者により創出される。



自分の現在位置、目的地までの経路などの情報が詳細に手に入る

初めて訪れる国や都市で不慣れな交通機関を利用しなければいけない場合でも、自分の現在位置から目的地までの経路を詳細かつ正確にナビゲートできる。



広くてわかりづらい観客席へのご案内も正確かつスムーズに

ナビゲート用デバイスを所持したボランティアスタッフにより、会場内外のスムーズな案内を実現。多言語翻訳システムと組み合わせることで、世界中から訪れる人々にストレスフリーな大会観戦を提供する。

東京駅周辺屋内外シームレス測位サービス実証実験(平成27年度実施)

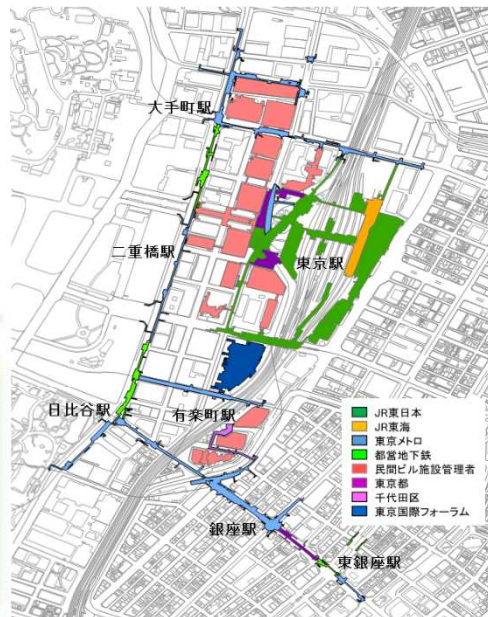
- ▽関係者の協力を得て、地下街の全体的な地図を作成
- ▽GPSでは測位できない地下街に測位機器(ビーコン等)をきめ細かく設置し、高精度な測位環境を実現

測位機器(ビーコン等)の設置



実証実験エリア(大丸有地区)基礎データ

- ・就業人数 約23万人
 - ・建築棟数 約104棟(建設予定含む)
 - ・事務所数 4000事務所
 - ・鉄道網 20路線13駅
 - ・駅乗車人数 約139万人/日
 - ・空港アクセス(鉄道利用) 羽田空港約27分 成田空港約54分
 - ・ホテル 9カ所 1,722客室
- 出典: 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会HP



平成28年度 高精度測位社会プロジェクト

2020東京オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、対象エリア拡充等を行い、引き続き実施



地図整備

測位環境の整備
※パブリックタグ登録

バリアフリー情報の
収集・整備

アプリケーションの試作

- ・バリアフリー情報の提供
- ・多言語対応の検討
- ・iOS端末対応

空港モデルの
試作

東京駅モデルの改良・検証

競技場モデルの
試作

バリアフリー情報の収集

ジャパンスmartナビ トライアル版 Ver.2 (仮)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28年度以降
検討会		第1回 ・検討会の設置 ・WGの設置 ・今後の予定 ・プロジェクト概要 等		第2回 ・実証実験計画について					第3回 ・実証実験結果報告 ・アプリコンテスト表彰・報告 ・H29年度以降の取組	
		実証実験に向けた準備 計画策定、実証用地図作成 測位機器設置、アプリ試作等		実証実験 (一般公開) アイデアソン ハッカソン			多様なサービス創出のための 屋内測位機器の設置指針等の検討		現行ガイドライン(案)の補完	
実証実験G										